

事務事業 No./名称	■サービス部門 防安-03 □支援部門		安全・安心まちづくり推進事業							
主管課	安全安心推進課	関連課								
分野名	地域安全									
目標 (目標値)	安全で快適な生活が送れるまちを実現するため、地域ぐるみでの防犯対策を推進します。									
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考					
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯						
事業の対象者数										
運営資源 状況	決算値(千円)	74,938千円	69,115千円	77,749千円						
	(国・県)		392千円							
	(負担金等)									
	(一般財源)	74,938千円	68,723千円	77,749千円						
	人員配置数	3.0人	3.0人	3.0人						
	人件費(千円)	25,278千円	26,068千円	26,404千円						
	協働の パートナー			(特非)ICP地域振興協会						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	100,216千円	95,183千円	104,153千円						
	市民1人当 りの経費(円)	約566円	約539円	約590円						
	対象者1人 当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名	鎌倉市	横須賀市	平塚市	藤沢市	小田原市	茅ヶ崎市	逗子市	厚木市	大和市
	人口(人)H22.7.1	174,417	419,154	260,048	409,737	198,586	234,745	58,881	225,493	226,336
	刑法犯認知件数(件)	1,049	3,547	3,446	5,007	2,259	1,955	439	3,080	3,386
	人口1,000人当 たりの刑法犯認知件数	6.01	8.46	13.25	12.22	11.38	8.33	7.46	13.66	14.96
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(25年度)			
自主防犯活動団体の取組(自治・町内会)	○	目標値	118	123	137	141	144			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	117	126						

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。			
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。			
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止			
安全・安心まちづくり推進事業 (経常経費)	72,498千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A □B □C □D □E			
	事業の概要	防犯アドバイザーによる地域の防犯活動への支援、防犯灯維持・設置への助成、犯罪発生情報の提供等					
安全・安心まちづくり推進事業 (政策的経費)	2,440千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A □B □C □D □E			
	事業の概要	防犯アドバイザーによる地域の防犯活動への支援					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要						
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要						
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要						
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要						

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)	
H22年度の課題	21年度に増加した侵入盗・ひったくり等の窃盗犯罪に対する対応強化、子ども関連施設での防犯訓練・教室強化、振り込め詐欺被害の防止等への対応
課題解決のための取組	防犯パトロール、防犯講話、子ども関連施設での訓練・教室の実施強化、さら「鎌倉市犯罪のない安全安心まちづくり推進条例」の制定への取り組みを通じて、地域における積極的な自主防犯活動実施への働きかけ
未解決の課題	暴力団排除条例の制定、地域での青色パトロール車導入実施への支援等
今後の方針	暴力団排除条例の制定、省電力型防犯灯の導入のための防犯灯設置費・改造費補助金の見直し検討(制度の充実化)、防犯グッズの貸出目品の見直し等
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒ A ※ □事業完了 課長名 安全安心推進課長 左藤 俊夫

個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果	
安全・安心まちづくり推進事業 (経常経費)	主な個別事業	#1145 防犯アドバイザーの配置	2,502	2,491	■適切	□見直し余地あり
		#1145 防犯灯維持・設置等への助成	72,164	69,798	■適切	□見直し余地あり
		#1145 その他犯罪発生情報の提供等	338	209	■適切	□見直し余地あり
安全・安心まちづくり推進事業 (政策的経費)	主な個別事業	#1188 防犯アドバイザーの配置	2,527	2,440	■適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり